

タカラ印刷株式会社

(福島県福島市) 【企画デザイン印刷、ホームページ制作】

商工会議所のイチョン

女性の活躍推進

LEADER

代表取締役 林 克重 氏



従業員数は、6対4で女性の方が多く、女性管理職比率は67%。人間力で会社の発展を図ろうとしたとき、ふさわしい社員が女性だった。企画からデザイン・印刷・製本・発送までをトータルで取り組むタカラ印刷は、2013年「女性のチャレンジ賞」特別部門賞(内閣府)に輝く。

社員が幸せなら、お客さまも幸せ
社員が仕事も家庭も大事にできる職場環境を整備

■背景・きっかけ:

男女関係なく、仕事は「人間」の力次第。社長の父である初代社長が体調を崩していた時、母である現相談役が会社を切り盛りしていた。また、支える社員も性別関係なく、その時、その場所で、できる者が業務にあたる。その活躍ぶりが社のDNAに息づいている。1995年の第4回世界女性会議 NGOフォーラム(北京会議)に、女性役員が福島県の派遣団員として参加し、大いに刺激を受け、そこで学んだ女性起用・能力開発への取り組みに大きく舵を切った。

■取組内容・効果:

採用、配置、管理職登用等、長年にわたり性別にとらわれない人材活用を実施する。社員研修の機会均等やパートタイマーの正社員登用を行う。パートタイマーのまま管理職に登用した女性職員も大活躍中である。社員が目標とする社内ロールモデルと同じ仕事ができるようになったら、それを他の社員に教えることで評価がアップする成長支援制度を取り入れ、「個人」を生かす教育に力を入れる。

社の中期計画(3年)を係長以上の幹部社員とともに作成し、上振れの目標を掲げたにもかかわらず、それを1年で達成でき社員の意識が変わった。同じ結論を導くにも、男女でアプローチが異なり、多様な人材の中で議論が活性化した。朝礼や管理職会議で社内の風通しはよく、卒業式などの節目や子どもの発熱といった急な休みも全員で互いをフォローする。安心して家庭と両立して働ける風土が、社員の日々のモチベーションのアップにつながっている。女性のチャレンジ賞受賞で認知度が上がり、学生のインターンシップや就職希望者も多い。

■今後の展望と課題

個人に焦点を当てた徹底した人材育成・活用は、企業理念である「社員のしあわせづくり」が原点。社員満足が顧客満足につながるとの信念は固い。企業理念に表れた社長の覚悟と実際の取り組みに、社員一人一人がしっかりと応える姿がある。社員一丸となって、未知の分野でも積極的に挑戦し、全国にユーザーを持つオリジナル商品を作っていきたい。

中小企業の実践

ポイント

- ▶ 性別、勤務形態に差のない社員教育・人材登用の機会均等
- ▶ 密な情報共有で、社員が互いにフォローする風土醸成



性別、年齢に関係なく適材適所に職員を配置



福島を代表する夏祭りのポスターを制作

「オンナゴゴロ♡ユニット」では、女性の視点で企画・デザイン・制作を行う



【企業データ】

代表者	代表取締役 林 克重	会社設立年	1954年	従業員数	50人(男性20人、女性30人)
本社所在地	福島県福島市渡利字絵馬平86-9	ホームページ	http://www.takara.inaka.co.jp/index.html		
事業内容	企画デザインから印刷・発送までの商業印刷、医療用添付書類印刷、ホームページ制作				